

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みを通して、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

春日山原始林を未来へつなぐ会(奈良地区)
《環境保全》

会長 河原 宏吉



私たちは、世界遺産古都奈良の文化財の一つであり、国の特別天然記念物でもある春日山原始林を次世代へ継承していくことを目的に組織された市民団体です。

春日山は春日大社の神域として御蓋山とともに平安時代に勅命により禁伐地となって以降、大規模な伐採を免れ、1000年以上もの間、森林が維持されてきた貴重な場所です。原始林は人の手が全く入っていないということではなく、必要に応じて在来種による補植を行うなど、人々の手によって残されてきた森です。

しかし現在、春日山では、奈良のシンボルでもあるシカの食害等により、森を構成するシイ・カシなどの次世代が育たず、このままでは森が維持できなくなる恐れがあります。私たちは管理主体である奈良県と連携し、保全活動を進めるとともに、春日山原始林の価値や魅力、そして課題について多くの



方に知っていただくために、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。

認定NPO法人 いくの学園(大阪地区)
《女性・マイノリティ支援》

理事長 雪田 樹理



いくの学園は、府立の婦人保護施設から民間団体に生まれ変わって、2023年に25周年を迎えました。DVや虐待、性暴力などの社会問題に取り組むため、相談支援(電話相談・法律相談)とシェルター(暴力から逃れて一時的に住み、生活を立て直す安全な場所)を運営し、LGBTも含めてさまざまな被害当事者や周囲の人たちが安心して相談できる場をめざしています。

2024年に、画期的な「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行され、支援は新しい時代に入っていると感じています。2023年度は施行に向けていくつかの取組みをしました。若年女性の支援に関わる他の民間団体と一緒に議員向けの学習会を開いたり、大阪弁護士会の人権フェスタでブース出展やスピーチを行ったり、法律の周知と実



効性ある運用をめざしています。

近畿ろうきんさんとも啓発活動に取り組み、毎年11月に大阪府主催、近畿ろうきん・連合大阪・いくの学園共催で開催している「女性に対する暴力をなくす運動」セミナーを今年も実施する予定です。



社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。
※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭の商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。